

第5学年家庭科学学習指導案

平成26年10月21日

授業者 宇佐美 亜紀子

展開場所 家庭科室

1 題材名 わくわくミシン (C 快適な衣服と住まい)

2 題材について

本題材は、布を用いて生活に役立つ物を製作することで、ミシンに関心をもち、安全に操作し、直線縫いができることをねらいとした題材である。

本学級の児童の多くは、6月の「はじめてみようソーイング」の学習に意欲的に取り組んだ。友達と教え合い、見せ合いながら楽しく玉結びや玉どめの練習を行うことができた。

この題材は、5年生にとって初めてのミシンの学習である。手縫いの学習に対する意欲を持続できるようにしたいが、ほとんどの児童が初めてミシンに触るといった状況である。ミシンの使用時に何度もトラブルが発生したり、縫った糸をほどいてばかりだったりすれば、あっという間にミシン嫌いの児童が増えてしまうだろう。

そこで、児童の意欲を持続させながら、わかりやすくスムーズにミシンの安全な取り扱い方が分かり、製作に関する基礎的な知識や技術を身につけられるように学習を進めたいと考えた。

そのために、様々な見本を活用したり、直線縫いのコツを調べたりすることで製作に必要な知識や技術をできるだけ具体的にとらえられるようにする。その上で、その知識や技術を習得するために、各自でミシン縫いの練習に取り組む時間を取り入れる。自分の課題を明らかにしながら練習に取り組み、自信をもって製作に入れるようにしたい。

多くの児童にとって、初めてのミシン学習である。スムーズに楽しく学習に取り組みながら、基礎・基本を確実に定着させたい。そして、ミシン学習に対して苦手意識を持たずに中学校へつなげたいと考える。

3 児童の実態 (男子8名 女子16名 計24名)

(1) 家にミシンはありますか？

ある	ない
20人 (83%)	4人 (17%)

(2) 家の人はミシンを使っていますか？

よく使う	たまに使う	あまり使わない	ほとんど使わない
2人 (10%)	8人 (40%)	4人 (20%)	6人 (30%)

(3) 今までに一人でミシンを使ったことはありますか？また、製作したものは何ですか？

ある	ない
4人 (17%) シュシュ・ぞうきん・ペンケース マフラー・手袋	20人 (83%)

(4) ミシンの学習で何か心配なことや不安なことがあったら書きましょう。(複数回答)

・特にない (13人)	・手を縫ってしまいそう・針がささる (7人)
・ミシンを壊す (1人)	・ミシンをちゃんと使えるか (1人)
・手順を間違えないよう (1人)	・スピードはどのくらいにすればいいのか (1人)
	・縫うスピードが速いからしっかり縫えるか (1人)

約8割の児童の家庭にミシンはあるものの、実際にミシンを使用する姿を見たというのは半数である。また、一人でミシンを使用したことがある児童も4人で2割弱となっている。児童の生活にとって、ミシンやミシン縫いはそれほど身近ではないことがわかる。

そのため、ミシン学習に対しての心配や不安としては、怪我やミシンの故障等に関することが挙げられており、半数以上が特にないと答えている。これは学習に対する自信を表しているわけではなく、ミシンが身近でないために、どんなことが難しいのか、どんな場面で失敗しやすいのか考えることができているということである。操作や出来栄など具体的なことが思い浮かんでいない。

多くの児童が初めてミシンを扱う状況である。授業の中で、「今日はこれができるようになった。」「次はここを練習すれば大丈夫だ。」と児童が実感できるようにしたい。そして、製作の楽しさと達成の喜びを両方味わえるように授業を行いたいと考える。

4 仮説との関連

仮説(1) 基礎・基本の知識や技能のよさ、学習のめあてを具体的に捉えられるような導入の工夫をすれば、基礎・基本の習得を目指し、意欲的に学習に取り組み続けることができるだろう。

(2) 課題を細分化し、その中から自分に必要な課題を選択して問題解決的学習が進められるように学習環境を整えることで、基礎・基本の習得を実感しながら学習を進めることができるだろう。

仮説(1)に関連して、導入では上手に見える完成品の見本以外に、返し縫いが重なっていない、またはしていない見本、角が直角になっていない見本、直線縫いがくねくねと曲がっている見本を活用する。これらを比較し、違いを見比べることで、目指すべき基礎・基本をより具体的に捉えることができると考える。その上で、目指すべき基礎・基本を習得するためのコツを自分達で調べる時間を作る。まっすぐ直線縫いをするためにはミシンのどこに布を合わせられればいいのか、角を直角に曲

がるにはどのようなやり方をすればいいのか。習得したい基礎・基本が具体的になっているので、実際にミシンを動かしながら考えたり、課題を明確にもって教科書やパソコンで調べたりして、意欲的に取り組むことができると考える。

また、各自が自分に必要なめあてや課題を明確にもち、自分の実態に合わせて学習を進められるようにするために、課題を細分化したいと考えた。そこで、仮説（２）に関連して、製作のためにどのような知識や技術が必要で、現時点で何を理解、習得しており、何を理解、習得していないのかを把握しながら、学習に取り組めるようにするために、チェックリストを活用する。チェックリストをもとに、各自で自分に合った練習計画を立て、ミシンの練習に取り組むことができれば、めあてや課題が明確になり、どの知識や技術を習得したのか実感しやすいのではないかと考える。

5 題材の目標

- ミシン縫いに関心を持ち、目的に応じた縫い方で製作し、その楽しさや活用する喜びを味わう。（関心・意欲・態度）
- ミシンを用いた直線縫いにより、目的に応じた縫い方について考えたり、自分なりに工夫したりする。（創意工夫）
- ミシンを安全に使って、直線縫いで製作することができる。（生活の技能）
- ミシンの基本的な操作が分かり、ミシンを用いた直線縫いの仕方について理解する。（知識・理解）

6 指導計画（11時間扱い）

小題材	主な学習内容	時配
ミシンぬいに チャレンジ	・ミシンのいろいろな機能を試す。	1
	・ランチョンマットの見本から、ミシン縫いについてのポイントをまとめ、コツを調べる。	1
	・自分の課題に合わせて練習計画を立て、ミシンの扱い方やミシン縫いを練習する。	4 (1/4本時)
計画を立てて、 つくってみよう	・ランチョンマットを製作する。	5

7 評価規準

関心・意欲・態度	創意工夫	生活の技能	知識・理解
・ミシン縫いに関心を持ち、目的に応じた縫い方で製作し、その楽しさや活用する喜びを味わっている。	・ミシンを用いた直線縫いにより、目的に応じた縫い方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	・ミシンを安全に使って、直線縫いで製作することができる。	・ミシンの基本的な操作が分かり、ミシンを用いた直線縫いの仕方について理解している。

8 指導と評価の計画

時間	ねらい・学習活動	評価規準・評価方法			
		家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を創意工夫 する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
1	○ミシンのいろいろな機能を 試し、ミシンの仕組み等を 知る。	ミシンに関心をもち、進んでミシンの機能を試している。 ・行動観察 ・ワークシート			ミシンの仕組みがわかる。 ・行動観察
2	○直線縫いのポイントをまとめ、 コツを考える。		直線縫いのコツについて調べたり、自分なりに工夫したりしている。 ・行動観察 ・ワークシート		直線縫いの仕方について理解する。 ・ワークシート
3 (本時) ・ 4 ・ 5 ・ 6	○ミシンの安全な使い方を知る。		ミシンの使い方や直線縫いの練習計画について考えたり自分なりに工夫したりしている。 ・ワークシート	ミシンの安全な取り扱いができる。 ・行動観察	
	○ミシンの基本的な操作、ミシンを用いた直線縫いの仕方について理解する。			ミシンを用いて直線縫いをすることができる。 ・行動観察	上糸のかけ方や下糸の出し方など、ミシンの基本的な操作を理解している。 ・行動観察
7	○ランチョンマットの製作計画を立てる。		縫い方や縫う場所について考えたり、大きさなどを工夫したりしている。 ・ワークシート	ランチョンマットの製作計画を立てることができる。 ・ワークシート	
8 ～ 10	○布を裁ち、しるしをつけ、縫う。			布を裁ち、しるしをつけることができる。 ミシンを用いた直線縫い、製作に必要な用具の安全な取り扱いができる。 ・行動観察	
11	○仕上げをして、製作を振り返る	製作をふり返り、製作の楽しさや製作した物を活用する喜びを味わっている。 ・ワークシート			

(0.5)	○ランチョンマットを使用してみ、製作をふり返る。	縫い方や手入れの仕方を見直し次の製作に活かそうとする。 ・行動観察			
-------	--------------------------	--------------------------------------	--	--	--

9 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・直線縫いの仕方について理解する。(知識・理解)
- ・直線縫いのコツについて調べたり、自分なりに工夫したりする。(創意工夫)

(2) 展開 (2 / 1 1)


児童の活動	教師の指導○と評価◇	資料・教具
<p>1 ミシンの学習でランチョンマットを製作することを知り、4種類のランチョンマットの見本を見比べて、違いを考える。</p> <p>2 違いをまとめ、上手に見えるポイントを確認する。</p> <p>3 本時の学習課題をつかむ。</p>	<p>○4種類の見本を各グループに配付し、その違いを話し合うように促す。</p> <p>見本A くねくねまがっている</p> <p>見本B 角が直角ではない</p> <p>見本C 返し縫いができていない</p> <p>見本D 上手に縫えている</p> <p>○違いをもとに、上手に見えるポイントを3つにまとめる。</p> <p>ポイント1 まっすぐ縫う</p> <p>ポイント2 直角に曲がる</p> <p>ポイント3 返し縫いを重ねる</p> <p>◇直線縫いの仕方について、まっすぐに縫うこと、角は直角に曲がること、縫い始めと縫い終わりは重ねて縫うことを知る。(知識・理解)</p>	<p>・見本</p> <p>・ワークシート</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>上手にぬうためにはどんなコツがあるだろうか。</p> </div>		
<p>4 調べ方を確認する。</p>	<p>○調べ方を3つに分けて確認する。</p> <p>①ミシンを実際に動かす。</p> <p>②教科書で調べる。</p> <p>③パソコンを活用する。</p> <p>(教材名「学んで作って楽しいミシン」)</p> <p>◇直線縫いのコツについて調べたり自分なりに工夫したりしている。(創意工夫)</p>	<p>・ミシン</p> <p>・パソコン</p> <p>・教科書</p> <p>・ワークシート</p> <p>・から縫い用の画用紙</p>

<p>5 見つけたコツを発表する。</p> <p>ポイント1 まっすぐ縫う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布にまっすぐな線を引く。 ・ミシンのおさえに合わせる。 <p>ポイント2 直角にまがる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まがる所に印をつける。 ・スピードをゆるめる。 <p>ポイント3 返し縫いをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけゆっくりぬう。 ・布をひっぱらない。 <p>6 次時から見つけたコツをもとにミシンの練習を始めることを伝える。</p>	<p>○見つけたコツをポイントごとに模造紙にまとめ、共通するこつを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・模造紙 ・ワークシート
---	--	---

板書計画

ランチョンマットを作ろう。

A	B	C	D	
くねくねして いる	角が直角では ない	ぬい始めが重なって いない ぬい終わりが ほどけている	◎	上手に見えるポイント



	1 まっすぐぬう		2 直角にまがる	
			3 返し縫いを重ねる	

上手にぬうためにはどんなコツがあるだろうか。

	ポイント1 まっすぐぬう	ポイント2 直角にまがる	ポイント3 返しぬいを重ねる
コ ツ	<ul style="list-style-type: none"> ・布にまっすぐな線を引く。 ・ミシンのおさえに合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まがる所に印をつける。 ・スピードをゆるめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけゆっくりぬう。 ・布をひっぱらない。

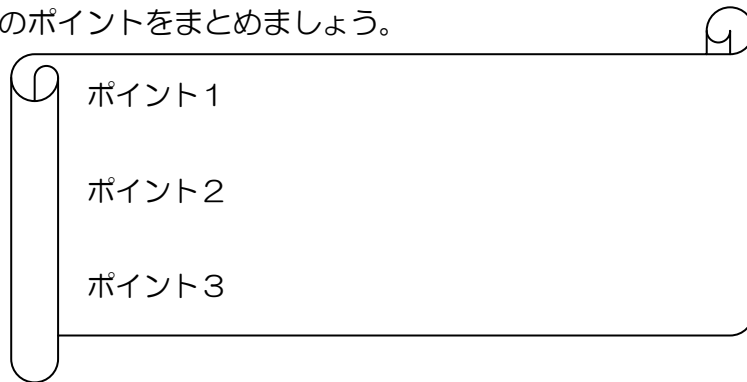
ランチョンマットを作ろう

名前 ()

☆見本を比べてちがいを書きましょう。

A	B	C	D

☆上手に見えるためのポイントをまとめましょう。



ポイント1
ポイント2
ポイント3

☆コツを考えましょう。

	ポイント1	ポイント2	ポイント3
コ ツ			

